工学部定义 2018.3 no.23



平成30年2月12日(祝日) 九里学園グランドにて、山形大学工学部が主催となり今年度から米沢栄養大学及び米沢女 子短期大学の3大学合同で雪合戦大会が開催されました。雪の中、8チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。





ここから、共に未米を切り拓こう	
山形大学工学部 新春特別対談	2
生産者・消費者・市場が近い社会	6
米沢工業会理事長就任挨拶	7
米沢工業会常務理事就任挨拶	7
学務委員会だより	8
教務委員会だより	8
学生相談室だより	8
メンタルケアの重要性	9
世界に羽ばたけ工学部	
グローカルな人材育成に向けて	10

英国研究留学体験記 …………10 学科(専攻)だより……………… 11

次	~~~ ~~~
---	--------------------

平成29年度卒業・修了予定者の就職内定・
進学予定先一覧 16
平成28年度卒業・修了者の就職状況 17
キャリアサポートセンターだより 18
就職活動と後輩へのアドバイス 18
山形大学工学部後援会会則 19
平成28年度一般会計収支決算書及び
平成29年度一般会計収支予算書 19
山形大学工学部保護者懇談会
今年度(平成29年度)実施報告と
来年度(平成30年度)開催予定 20
お知らせ 20
平成30年度工学部年間予定表・後援会通信 … 20

「ここから、共に未来を切り拓こう」

山形大学工学部 新春特別対談

新たな年を迎え、気になる山形大学工学部が取り組む「教育|「生活指導」、 そして「目指す学生の未来像」についてお話いただきました。





工学部後援会長 長谷部 利

昭和25年3月22日生(65歳)

昭和47年3月 山形大学 工学部機械工 学科卒業

安科学末 昭和49年2月 株式会社 田村電機製作 所(米沢)入社

平成2年4月 田村電子工業㈱ 製造課 長 平成10年4月 ユニオン電機 代表取締

一 役社長

平成22年6月 退任 平成23年6月 山形大学工学部後援会副

会長
平成27年6月 山形大学工学部後援会長



工学部副学部長 野々村 美 宗

1996年 慶應義塾大学 大学院博士後期課程 修了 同年より花王株式会社で化 粧品・身体洗浄料の商品開 発研究に従事。2007年 山形大学准教授、2017年 同教授。現在はバイオ化学 工学分野で物理化学:界面 化学・化粧品学を担当する。

将来を見据えた教育と、さらなる指導の充実を

長谷部 山形大学工学部は昨年6月に文部科学 省が発表した国立大学法人(86校)の中での 業務実績評価はベスト3に入りました。その 評価項目は教育・研究・地域貢献・財務の改 善等とお聞きしていますがその具体的な理由 とも言える大学の取り組みやこれからについ て、皆様にご紹介していければと思っており ます。まず、教育について教えてください。

野々村 昨年9月から教育面で担当しております、野々村です。山形大学では、世の中で活躍できる研究者を育てたいと、基礎から専門的なところまで学べるような教育プログラムを作っています。もちろん昨年のランキングについては、やはり長い歴史の中でいろいろな取り組みがあってのことを評価いただいたものかなと思っていますね。OB会に出席した際には社会で活躍されている方について伺って、歴史の厚みを感じたところです。

近年の教育としては6年ほど前から、大学院での教育を充実させようと、研究力に加えてグローバル力を磨くため、海外へインターンシップで行ったり、企業で学ぶという「リーディングプログラム」を行っています。また昨年から早稲田大学と連携し、自分で研究をするだけではなく、それを事業に繋げ新しいビジネスを立ち上げていけるような教育をしたいと、通称EDGE-NEXT(エッジネクスト)と呼んでいる「次世代アントレプレナー人材育成授業」を行っています。

それから、近年ネットを使ったビジネスの 方が主流になってきており、昨年から「デー タ関連人材育成プログラム」が始まりました。 こちらも注目です。

また、新しい大学院の教育を充実させたい と、卓越大学院プログラムとして、今年新た に申請するものもあります。

上 村 それは楽しみですね。大学ランキングでは高校の先生からの評価も高く、面倒見の良い大学として喜ばれているともお聞きしました。他の大学との違いはどんなところにあると思われますか?

黒 田 他の大学をそれほど詳しく知らないの

工学部副学部長 黒田 充紀

1992年 武蔵工業大学 大学院博士後期課程 土木工学専攻修了。同年より足利工業大学勤務(講師、助教授)。1999年山形大学工学部に助教授として赴任。2006年 同教授、現在に至る。大学院時代の専攻分野は橋梁工学。本学着任後は機械システム工学分野で材料力学、金属材料学、計算力学に関する教育・研究に従事。



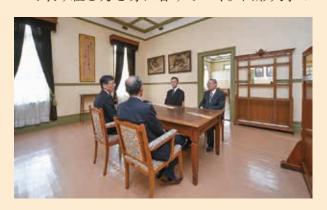
で正直な所比べにくいのですが (笑)。

大学のシステムとしては、学生約30人に一人の割合でアドバイザーとなる教員がおります。基本的には年に2回の成績配布時に全員に会い、履修状況や生活状況を確認し、指導にあたっています。きちんとできる学生もいれば、中には環境の変化になじめず休みがちになってしまう学生もいます。今後は時期を問わず授業を複数回休んでいる学生に声をかけられるような仕組みを構築していこうと検討中です。

ほとんどの授業では毎回課題を出しているので、その提出によっても状況を判断することができます。課題を通しての学生との対話も増えていると思います。

さらに卒業研究では複数指導教員の制度を 導入します。これらによって、学生と教員の 距離は大分近づくのかなと思います。できる 限り学生に寄り添いたいと考えていますね。

大学に入学し安心して生活をしてもらいながら、十分に学び基礎をしっかり身に着ける。 そして自らの専門性と知識を広げ、社会に出て取り組む力を身に着けていく。山形大学の



教育の方向性が結果として評価されてきていると思います。

長谷部 単なる勉強だけではなく、即実践、仕事にも活かせるというのは非常にうれしいことですね。

進む寮の新設

長谷部 私が入学した昭和43年に自楊寮が建設され、多くの学生が勉学・研究に貴重な時間を過ごされたことと思います。数年前から耐震性に問題があり新規の入寮は募集していませんが。今年から新たな寮の建設が進められるそうですね。

野々村 来年の春完成を目指し、工事が始まっています。現代のシステムで、セキュリティーもしっかりしていますから、保護者の方も安心でしょう。昔のように工学部は男性だけではありませんから、男子寮ではありません。男女合わせて250人の入寮が可能になります。

上 村 私たちの頃は2人部屋でしたけれど、 今度は個室だそうですね。親元を離れての暮らしは心細いでしょうが、友達を作って協力 し合いながらより学生生活を楽しんでほしい ですね。

就職、進学、起業。 自らの力をどこで、どう活かしていくのか

長谷部 就職は比較的早い時期から皆さん決まっているとお聞きしております。進路指導についてどのようになされているのですか?

野々村 就職指導はかなり力を入れていますよ。 おかげさまでこの春に卒業する学生の中で就

米沢工業会 理事長

上 村 勘 二

昭和43年 3月 山形大学工学部機械工 学科卒業 昭和43年 4月 川崎重工業株式会社入

社 昭和51年 4月 山形県教員採用、酒田

工業高校赴任 平成14年 4月 山形県立米沢工業高校

校長 平成18年 3月 定年退職

平成23年 6月 山形大学工学部後援会

会長 平成27年 6月 後援会会長退任

平成29年10月 一般社団法人米沢工業





職を希望している学生は、ぼぼ内定しています。就職活動のスタートは3年生の3月です。 米沢市営体育館をお借りし、約400社にお集まりいただき合同企業説明会を行いました。 米沢市内にある大学さんと一緒に行うのですが、年々参加企業も増えています。企業について話を聞き興味関心を深め、自分にあった会社を見つけて、9月ぐらいには就職先が決まるといった形が多く見られます。

長谷部 就職率の高さは本当にうれしいことです。先輩が築いてきた就職先との繋がりも多いでしょうけれども、新たな企業の開拓も含め、チャレンジしていってほしいですね。

黒 田 市営体育館をお借りしての合同説明会は約10年になりますが、以前は大手企業の話を聞こうと学生がブースに殺到していました。しかし近年では、地元に戻って就職しようという人もいれば、学んだ知識を活かせる小規模であっても技術力の高い会社を探したり、もちろん大きな会社を目指したいという人もいますし、一人ひとりの関心も様々。どのブースにもまんべんなく学生が訪れ話を聞いています。

これまでは、大学を卒業したら会社に就職するというのが当たり前のように考えられていましたが、これからは、自分の進めた研究や修得した技術から産業を起こし、起業を考える人も育てていきたいです。私たちはそんな教育ができるよう、もっと努力していかなければならないと思っています。

上 村 起業化教育と考えたとき、具体的にどのようなことをやられているのか、具体的なカリキュラムを教えてもらえませんか?

野々村 先ほどお伝えしました、EDGE-NEXT (エッジネクスト) プログラムでは、起業で

必要とされる基礎を学んでいます。会社を経営するということは?マーケティングとは? そして実際に起業され活躍されている方にお越しいただき、実際のリアルなお話を伺います。さらには起業したいと考えている学生や、ビジネスを展開したいという学生にチャンスを持たせる。そんなプログラムです。

長谷部 より実践に近く、魅力的な教育ですね。 野々村 もちろんいきなり起業に踏み込む学生 は少ないと思いますが、学生の頃に起業につ いて学んだり、話を聞いた経験は、いずれ役 に立つはずです。例えば転職をしなくても会 社のなかで新しい事業展開をしていかなけれ ばいけなかったり。これからの時代はどんど ん増えてきます。今までの工学教育にプラス し、時代の流れに対応できる力を育む教育を 取り入れていきます。

長谷部 新たな価値観、創造性を生み出す、これは大学の使命ですね。先輩の中にもたくさん起業している方がいますので、ぜひそういった方々のお話も聞いてみたいです。

自ら見い出し活動するフィールドを

長谷部 教育や生活、進路、たくさんの取り組みを伺ってきました。学校の中での取り組みも大事ですけれども、その他での活動でも教育の場はたくさんありますよね。サークルや文化活動など外からもうれしい声を聞くようになりました。

野々村 今年度、山形大学の軟式野球部は全国 でベスト4に入りました。工学部のメンバー も参加していて、応援していたんです。日頃 の練習に加えてこういった結果がでたことは、 より大きな自信に繋がったと思いますよ。

上 村 自分を高めていける環境、リーダーシップ・フォローシップを発揮する場面、そんな機会が増えると、人間的にどんどん成長できますよね。

長谷部 これまで研究室主体の野球大会は開催されていましたが、今年度から大学院生主体のサッカーも始まったようですよね。80名くらいの参加があったと聞いています。後援会としても今後、野球やサッカーだけではなく、他の部を含め応援していきたいです。

上 村 米沢の冬と言えば雪。除雪は非常に重 労働です。ボランティア活動として高齢者宅 の雪下ろしに、今年も80名ほど登録いただい ているようです。とても頼もしいです。ボランティア精神、活動の経験を大学生に味わってほしいと思います。きっと人間的にも一回 りも二回りも成長できるはずです。他大学とも協力してとのことですから、交流の場としてもいいですね。

黒 田 米沢は大きな街ではありませんが、幾つかの大学があり、除雪ボランティアをはじめ、様々なボランティア活動や、学園祭を一緒にやっていますよね。学校側が促したものではなく、自主的に努力して進めている。その連携も魅力の一つではないでしょうか。

長谷部 学び垣根を超え、友情の輪を広げ、地域との交流を深めながら、より実りのある学生生活にしてもらいたいですね。



生産者・消費者・市場が近い社会

工学部長 飯塚 博

工学部後援会の皆様には、学 生の課外活動や工学部の諸行事へのご支援、さらに は学内教育環境整備へのご支援も頂いております。 感謝申し上げます。

昨年は、学生の死亡事故やハラスメントに係る報道が続き、皆様には大変ご心配をおかけしました。 その後、本学では在学生との面談を徹底し、緊急性のある場面への迅速対応、面談ができていない学生への対応継続等、進めております。また、教職員対象に、対応が難しい場面での留意点等を専門医から伺う研修会も行っています。今後、後援会の皆様との情報共有も益々大切になってくると思います。連携をよろしくお願い申し上げます。

工学部では、平成29年度に大幅な学科改組があり ました。それとともに課題解決型の教育カリキュラ ムを充実しました。教室で講義を受けて試験で合格 点を取る、という通常の知識習得型の学習とは異な り、社会課題や企業が抱える技術課題を題材に、ア イデアを出し合って協働して課題解決に取り組む学 習です。また、起業家精神を育成する教育プロジェ クト(Edge-next)も始まりました。先日、それに 関連したシンポジウムが山形市で開催されました。 既にベンチャー企業を立ち上げている学生達がパネ リストとして参加しました。「今後の食糧危機に役 立つ仕事がしたくて、コオロギを飼って魚の餌にす るベンチャー企業を立ち上げている。」、「地域おこ しがしたくて、ドローンを使って色々な活動をして いる。お金儲けよりも楽しい。」等の活動紹介があ りました。

また、昨年末に米沢市主催で「米沢農商工×IoT ×スタートアップ」という異業種交流会があり、首都圏でベンチャー企業を立ち上げて活動している若

手の皆さんと米沢市内の企業との連携を目指す交流がありました。山形大学工学部からは、大学発ベンチャーを立ち上げた教員がパネリストとして参加し、「是非、その素材を使って、新商品を連携して開発しましょう。」、「私達は大面積のセンサーシートを作れるので、それで温度分布が測れます。」等の具体的な提案をしていました。今後ともこのような人材育成やベンチャー企業を巻き込んだ取り組みが盛んになって行くと思います。

工学部では上記のような新しい手法の人材育成や 社会連携を始めていますが、その背景は何処にある のでしょうか。最近、多様性(ダイバーシティ)、 地域格差、教育格差、環境破壊等に関する報道によ く触れます。また、人工知能、IoT、自動車の無人 運転等、「情報」に関する最新技術が話題になって います。これまで、私達の生活の向上を担ってきて くれた産業中心社会が行き詰まり、少しずつ社会が 変化し始めているのだと思います。私達は、科学の 発展に支えられて大きな動力を手に入れ、多くの従 業員を工場に集め、そしてモノづくりを始めました。 それ以前は自分達が消費するものは自分達で作って いましたが、分業化し、巨大化し、統合化し、そし て市場で出会うようになりました。現在、私達が慣 れ親しんできたこのような産業中心社会から、日々 の生活にもっと近いところでの社会活動中心へ、「情 報 | をキーワードとして、私達の社会が変わろうと しているのだと思います。

今後、学生達の就職先も、これまで人気が高かった大企業だけではなく、もっと生産者と消費者が近く、日々の生活に近いところの社会課題に直結した職種へ、目が向けられ始めるかもしれません。



米沢工業会理事長就任挨拶

一般社団法人米沢工業会 理事長 上 村 勘 二

工学部後援会の皆様には、同 窓会である米沢工業会にご支援

を頂き、感謝申し上げます。

本会は、母校米沢高等工業学校が明治43年に開設された15年後の大正6(1917)年に創立、その目的は卒業生同士の情報交換と助け合うことでした。昭和48年本会創立50周年を機に社団法人、平成25(2013)年に一般社団法人に衣替えして、母校・学生の教育・研究活動の支援と科学技術の広報活動の支援、そして会員の親睦を目的としています。公益目的支出比率は約45%です。現会員の約33,300名が全国・世界の各地で活躍しており、全国26支部活動の様子は本会ホームページや会誌・会報に掲載しています。

工学部は「面倒見の良い大学」と高校から高い評価を受けています(大学ランキング)。「面倒見が良

い」のは本会も同様で、同窓生から後輩に、実社会での苦労や成功などの貴重な経験を活かした助言、協力や応援を頂いているからです。本会は「日本で一番面倒見の良い同窓会」を目指しています。事業所等に赴任されたら是非支部へご連絡をして頂ければ、頼もしい応援団になれると思います。

昨年10月の定時総会で会員資格部分の定款を改定しました。今迄学生の保護者の方が準会員でしたが、学部生が準会員に、大学院生が正会員になりました。学生の意識向上を目指したものです。従来、会誌・会報は保護者の方へお送りしてきましたが、12月の会報から3年生以上の学生には大学で直接配布をしております。1・2年生分は保護者の方に送付致しました。馴染みの少ない本会のご理解を深めて頂くことをねらいとしています。

今後とも、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



米沢工業会常務理事就任挨拶

一般社団法人米沢工業会 常務理事 安 部 与市右衛門 (山形大学工学部 同窓会) 安 部 与市右衛門

この度、昨年10月14日の総会 及び理事会におきまして常務理

事に就任しました。このような重責を背負うことは 身の引き締まる思いではありますが、その責任に見 合う成果を出せるよう力の限りを尽くします。

私は工学部卒業後、米沢市内の企業へ就職し、開発部門を最初に色々な職務を経験しました。その経験と知識を生かして、米沢工業会を引っ張っていきたいと思います。前任の理事長、常務理事は数々の功績を残しました。これに学び、米沢工業会にとって良いと思えることは提案、実行してゆきたいと思います。

また、皆様のお力添えが必要であることは言うまでもありません。学生、院生の皆様、先生方、職員の皆様、正会員(OB/OG)の皆様、事務局の皆

さんの意見や提案を大事にして、決して一方に拘ることなく柔軟に米沢工業会を運営するよう努めます。ここで、学生、院生の皆さんへお知らせです。3/5、6と県内企業の工場見学を実施します。3/5は古河電エパワーシステムズ(電力機材製造、長井市)とセゾンファクトリー(食品製造、高畠町)、3/6は山形カシオ(電子機器製造、東根市)と東北グンゼ(衣料品製造、寒河江市)です。工場見学は実際のものづくりの仕組みを知るたいへん良い機会です。ぜひ、多数の参加を願っています。

次の工場見学は8月を予定しています。庄内地区 も廻りますので奮って参加願います。

今後共、米沢工業会の活動への協力よろしくお願い致します。

学務委員会だより

学務委員会委員長 滝 本 淳 一

(大学院有機デバイス工学研究科 有機デバイス工学専攻 教授)



学務委員会は、教育カリキュラムの円滑な実施と、学生の大学生活の支援のための種々の実務を担当しています。ご存じのように工学部では、2017年度の入学生から、昼間コースはこれまでの7学科を4大学科に再編

し、さらに新しく「建築・デザイン学科」を加え、フレックスコースの「システム創成工学科」と合わせて全6学科となりました。幸いにも教職員各位のご協力により、新学科に1年生をスムースに迎えることが出来ています。2018年度からは「建築・デザイン」以外の2年生が米沢キャンパスに移行し、米沢キャンパスで本格的に新学科の教育が始まります

が、これまで十分な準備を行って来ていますので、 3年生以上の旧学科の教育もこれまで同様にしっか りと行いながら、新学科のカリキュラムを順調に軌 道にのせることが出来るものと考えています。

学生生活の面では、2017年度は山形大学の学生の事故等に関係してご心配をおかけしたこともあるかと思います。工学部でも教員が全学生との面談を行い、また一部の学科で先行して実施していた副担任制度を2018年度から全学科で実施します。これまで以上にきめの細かい指導・支援を行っていく予定ですが、保護者の方におかれましても、日頃から学生の相談相手になって頂けますようお願いいたします。また、ご心配な点がありましたら、早めにアドバイザー教員等とご相談下さい。

教務委員会だより



教務委員会は、大学院における教育プログラム全般を担当しています。その守備範囲は、一般的な講義のカリキュラムの構築や学位論文の審査、インターンシップから健康管理まで広範に及んでおり、まさに学生生活

全般をサポートするのが私たちの役割といえます。 昨今、世界情勢や社会の構造が急激に変動する中で、大学院教育に求められる課題も日々、変化しています。大学院理工学研究科でも、研究力に加えて世界中で活躍することのできるグローバル力を身に着けた博士人材を育成するリーディングプログラムを平成24年度から行っておりましたが、今春、第1期生が晴れて修了する予定です。今後の学術・産業界での活躍が期待されます。また、来年度からは理

教務委員会委員長 野々村 美宗

(大学院理工学研究科 バイオ化学工学分野 教授)

工学研究科に所属しながら、医学研究科・農学研究科やいわゆる文系の研究科から提供される講義を受講することのできる大学院共通科目が発足します。より広い視野を持った研究者・技術者の育成につなげていきたいところです。一方で、学生の生活や進路決定をサポートするための試みにも取り組んでいます。複数の教員がチームとなってきめこまかく大学院生を指導する副担任制度やインターンシップ・海外留学を促進するためのプログラムの構築を進めていく予定です。

教務委員会では、一人一人が充実した学生生活を 過ごすことができるように、取り組んで参ります。 保護者・卒業生・後援会の皆様におかれましては、 何なりとご提案・お問い合わせをいただくとともに、 変わらぬご支援を賜れれば幸いです。

学生相談室だより



学生相談室では、学生のあらゆる相談に乗ります。学修面、生活面、経済面、健康面、心の内面の問題、将来への不安、学生間の人間関係、教員との人間関係、など様々な内容が考えられます。個々の相談に対して、

学生相談室長 黒田 充紀

(大学院理工学研究科 機械システム工学分野 教授)

解決に向けて具体的かつ全力で取り組むことはもちろんですが、相談に来た学生は1人でも類似の問題を抱える学生が他にも(あるいは多く)いるかもしれません。学生相談室は、学生が抱える問題点を十分に検討し、学部執行部(工学部長)と連携を密にして、学修・生活環境整備の観点から実効性の高い対策を講じて行きます。

また、今年度は、相談チャンネルを増やすことにも取り組みます。教務とも深く関わりますが、卒業研究においては、複数教員による指導(副指導教員制)を導入します。これにより、日常的な相談相手が増え、よりオープンな環境で伸び伸びと学修・研究活動ができるようになると思います。

保護者の皆様におかれましては、学生の皆さんに、何か困ったことがある場合には、学生相談室、アドバイザー教員、指導教員(副指導教員)、学生サポートセンター学生支援担当等に、一早く相談するようお伝え下さい。

メンタルケアの重要性

『学生の面目』



学生にもプライドがある。何らかの理由で、しばらく授業に出ていなかったり、研究室に行かなかったりすると担当教員から学生に連絡がいく。しかし、電話をしてもメールをしても梨の礫ということが珍しくない。

担当教員は、どうしようもないので、これ以上連絡が取れなければ保護者に連絡をすると学生にメッセージを残す。すると驚くことに学生からすぐに反応がある。学生にしてみたら、学業から遠ざかっていることを親には知られたくないのである。学業をしていなかった分は、親に知られないうちに取り返そうと考えている。親にそんなことが知られたら学生の面目は丸つぶれである。そこで、学生は仕方なく教員と会い、話をし、大学に行くから親には連絡

准教授 髙 橋 国 法

学生相談室カウンセラー(臨床心理士)

を取らないで欲しいと懇願する。それで大学に来るようになるのかと言えば、そうならない…。傷つきやすいプライドが邪魔をするのだ。

大人は、人生は常にうまく行くものではないこと を知っている。どんなに努力をしてもうまく行かな いことはあるものだ。学生は、それは自分には当て はまらないと考えているのかと思うことが往々にし てある。

うまくいかない時、一人でじっと耐えて頑張らなければいけない時がある。苦しみを共に分かち合える人が必要な時がある。ラクな人生も良いが、苦しい時が成長のチャンスである。カウンセラーはそう考え、挫折体験が自分を成長させたのだと誇れるようになる姿を思い描きながら学生を応援する日々を送る。

学生相談室について

学生相談室は、皆さんがよりよい学生生活を送るためにサポートしています。皆さんの授業、生活、進路、心や体、友達との付き合い、先生との関係、日常の生活を送る上でのトラブル、ハラスメント、等々心配なことがあれば、いつでも相談に来てください。

問合せ方法・申込窓口

工学部保健管理室 TEL.0238-26-3034

平日:8:30~17:00

(土・日曜日、祝日、年末年始を除きます。)

E-mail: sodan@yz.yamagata-u.ac.jp

※メールには、学生氏名と学生番号を必ずご記入く ださい。

担当:曽根 恵子(看護師)





世界尼羽战龙时正学部



グローカルな人材育成に向けて

グローバルな視野拡大のための研修、

交換留学、学会発表等で、今年度海外

に飛び立った米沢キャンパスの学生数

工学部国際交流センター副センター長 准教授 **仁 科 浩 身**

指すものです。現在、21名の留学生が日本語学習、日本の就職活動やビジネスなどについて、母国との違いに戸惑いながらも、日本での就職を目標に日々学んで

います。

は、学部生及び大学院生を併せ、延べ約70名でした。 個人での海外旅行や外国人留学生との交流などを併せれば、さらに多くの学生が異文化を体験し、世界の中の自分を意識したものと思います。本学部や後援会、 米沢工業会においてもこうした体験を多くの学生が体験できるよう、渡航費などの援助を積極的に行っています。

現在、本学では、県内の高等教育機関・企業・山形県と連携し、「グローカル(globalとlocalからなる造語)」をキーワードに、グローバルな視野を持ちながら、山形の活性化に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。今回は二つの事業をご紹介します。

一つは、今年度開始した文部科学省採択事業「留学生就職促進プログラム」です。これは、留学生が大学卒業後、日本の企業(望ましくは山形・東北一円)に就職し、自身の特徴を生かしながら活躍することを目

もう一つは、今年3月に学生募集が始まった、同省 採択事業「~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~ 地域人材コース」の「やまがたの未来を切り開くグローカル人材育成プログラム」です。事業の目的は、山形県の産業や教育、文化面でグローバル化を推進できる「高度グローカル人材」の育成であり、県内及び海外でのインターンシップを必須とし、「山形」の今後を考えます。多数の学生の応募を期待しています。

日本人学生及び外国 人留学生双方が山形さらには日本の発展に寄 与できる人材となれる よう、関係教職員共々 その指導・教育に努め ていきたいと思います。





英国研究留学体験記

私は2017年1月より1年間、英国のWarwick大学に研究留学しました。人工血管など医療分野での応用を目指した生分解性材料の開発を研

究テーマとし、主な活動内容として新規化合物の合 成実験など行っていました。40人近くいる研究室メ ンバーの半分以上は英国外出身であり、様々な経歴 を持つ人がいました。研究の考え方や実験操作のス タイルなど、メンバーそれぞれが異なるものを持っ ていました。議論しながら研究を進める中で自分に はない思考や発想に出会い、引き出しを増やすこと ができました。これは日本にいてもなかなか体験で きないことだったと思います。一方で、いいことば かりではなく苦しいこともありました。最も苦し かったのはコミュニケーションです。言語の壁は高 く、理解できない、伝えられないという状態が続き ました。会話にストレスを感じるようになり、そこ から逃げるようになりました。それを環境のせいに する自分がおり、それを自覚する度激しい自己嫌悪 を感じました。とにかく何か変えなければと思いま した。朝、顔を合わせたら笑顔で挨拶する、まずは

機能高分子工学科 4年

森 山 治 紀

それだけ絶対に守ろうと決めました。自分の中で決まりを作ってそれを実行すること、それを続けるうちに自分の中にある堅さや捨てるべきプライドが少しずつ取れていくのがわかりました。自分が変わると周囲の反応も変わり、会話の頻度や幅が広がる手応えを感じました。いつしか会話に対する抵抗はほとんどなくなり、楽しめるようになりました。誰かに自慢できるような留学経験ではありませんが、自分の弱さや未熟さを認識できたこと、そして、小さなことですが自分自身の成長を感じられたことは今後の自分にとって価値のあるものだと思います。



ラボメンバーでクリスマスマーケットに遊びに

学科(専攻)だより

高分子・有機材料工学科



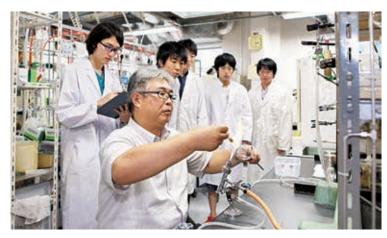
今年度は148名の入学生を迎え、新学科として高分子・有機材料工学科がスタートしました。新入生の学生諸君には第一期生として新しいカリキュラムのも

と、基礎学力を着実に身 に着け、充実した大学生 活を送ってほしいと願っ

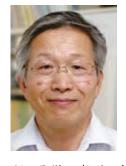
ています。今春には機能高分子工学科105名の卒業生が卒業し、そのうち79名が大学院の方に進学する予定でいます。また、大学院有機材料システム専攻では第一期生として修士課程の学生71名が修了します。社会に飛び立つ皆さんには山形大学で身に着けた様々な経験や知識に自信と誇りを持って、それぞれの分野において大活躍してほしいと願っています。何か専門的なことで迷うことがある時は

教育プログラム長 教授 川 ロ 正 剛

いつでも遠慮なく大学の方に尋ねて来てください。 我々教職員はいつまでも皆さんのサポーターになり ますので。今後とも保護者及び後援会の皆様方の暖 かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



化学・バイオ工学科



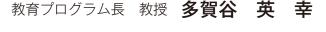
平成29年4月、新設された化学・バイオ工学科には、応用化学・化学工学コースとバイオ化学工学コースの2つのコースに、合わせて140名が入学しました。

4月4日の入学式の午後には、 学科保護者会が開催されました。 お二人での出席が目立ちました

が、入学の喜びの大きさとともに、保護者の方々の 大学教育への期待の大きさを強く感じる保護者会に なりました。席が足りなくなるほどの多くの保護者

の方々にご出席いただき、 本当に有難うございました。

昨秋には、東京・米沢・ 名古屋で保護者懇談会が開催されましたが、こちらの機会にも多くの保護者の 方々に出席いただきました。 入学して半年が過ぎており、 前期の成績表による勉学状 況の確認がなされました。



奨学金など、学業生活について質問がありましたが、 卒業後の進路への関心も高く、進学や就職などについて、具体的な期待や不安などが述べられました。 勉学状況や進路などにつきましては、学科ホーム ページからの情報やアドバイザー教員への問い合わせも活用してもらいたいと思います。

春には、2年生が米沢キャンパスでの勉学を開始するとともに、山形市の小白川キャンパスでは新学科2年目の新たな新入生を迎えることになります。

今後とも保護者の皆様方のご協力とご支援を宜し くお願い申し上げます。



新入生保護者会 平成29年4月4日



新入生オリエンテーション 平成29年4月6日

物質化学工学科

学科改組で物質・バイオ工学 科物質化学工学コースが誕生し 1期生が入学しました。これま

で以上に、化学 とバイオの結び つきの深いカリ キュラムが提供 されます。 2年

生は、キャンパスが山形から米沢へ移動し、専門の授業が中心となりました。講義や演習、実験を通じて力を蓄えています。3年生は、4月から卒業研究がスタートします。第一線の研究を学ぶことに加え、大学院入試、就職活動が加わり、4年間の集大成の年となります。4年生と修士2年生は、1月15日現在、95%の就職先が決まり、社会に旅立つ日も間近です。学科では、この先30年を

教育プログラム長 教授 神 戸 士 郎

見越し、大学院カリキュラムの再検討を始めました。 今後とも、保護者の皆様のご協力とご支援を御願い いたします。



学生実験の様子

情報・エレクトロニクス学科

あらゆるモノがネットにつながる、いわゆるIoT (Internet of Things)の時代を迎え、ソフトウェア・ハードウェア両方の知識を持った人材を育成することが急

務となっています。 この時代の要請に 応えるために、今

年度からソフトウェア教育が中心であった情報科学科と、ハードウェアが中心であった電気電子工学科が核となり、新たに情報・エレクトロニクス学科が新設されました。情報・知能コースおよび電気・電子通信コースの2コースから成り、定員150名の工学部で最大規模の学科となります。改組後初めての入試を経て158名を新学科に迎えることができました。

入学して1年間は山形市での授業ですが、いよいよ4月からは米沢に移り、より専門的な教育を受けることになります。各コースに関する専門的な内容を習得する「専門領域」のほか、両コース共通の

教育プログラム長 教授 小 坂 哲 夫

専門的な内容を学ぶ「融合教育領域」についても受講することになります。以上の教育を通じて新たな時代の産業界で活躍できる人材の育成を図っていきます。 どうぞよろしくお願い申し上げます。



学生実験の様子

情報科学科



工学部改組により2017年入学の1年生は新学科所属となりますが、2年生以上は従来通り情報科学科学生として教育を受け、しばらくは2つの学科が並立することになります。

最近はアルファ碁と呼ばれる 囲碁プログラムが世界トップ棋

士に勝利したことにより人工知能 (AI) が脚光を浴びるようになりました。アルファ碁の基礎となるニューラルネットワークの技術は1980年代後半に一時脚光を浴びましたが、その後下火となっていました。しかし一部の研究者の絶え間ない努力により遂にブレークスルーとなる技術にまで成長しました。本学科ではこのAIの基礎となる学問領域を学ぶこ

教育プログラム長 教授 小 坂 哲 夫

とができます。

本年度の進路状況ですが1月上旬の時点で内定率は96%と順調に進捗しています。また大学院への進学者は24名で進学先は山形大、東北大、筑波大などとなっています。就職状況が良いせいか、進学者が減少しているのが気になるところです。技術者とし

ての活躍を考える と大学院進学も念 頭に入れて頂けれ ば幸いです。

今後とも皆様方 のご理解、ご支援 をお願い申し上げ ます。



学生実験の様子

電気電子工学科



電気電子工学科では、基礎学力と応用力を備え、電子情報化社会に貢献できる自立した人材育成をめざして、教育研究を進めております。すでにホームページ等でご存知かと思いますが、高度化する社会のニーズに応えるために、昨年4月より情

報・エレクトロニクス学科がスタートし、この3月 現在では、1学年が情報・エレクトロニクス学科の 学生で、2学年から4学年が、電気電子工学科の学 生となっています。

これからは、スマートフォンに代表される高度な情報端末機器を個人が所有し、だれといつでも情報交換ができて、様々な電化製品等がインターネットネット技術や人工知能技術と結びついて、まさにモノとインターネットが結びつく社会になると言われています。これは、ソフト(プログラム)とハード(電子機器や電子回路)で主に構成され、これらはまさに両輪です。当学科では、このモノに重きを置いています。カリキュラムでは、基本的な電子の振る舞いから半導体・金属材料などの基本的な性質を学習し、それらで構成されるトランジスターなどの電子部品の基本特性を理解し、回路設計やシステムの事性を設計方法などを学びます。また、音波や光波を用いた通信システムや計測システムの特性や設計方法

教育プログラム長 教授 佐藤 学

からエネルギーの発生・伝送・制御などについても 幅広く体系的に、実験を通して学習できます。

このように、カリキュラム内容が広範囲に及ぶ一方、社会の求めるニーズも高度化の傾向があります。これに対して本学には大学院があり、まず2年間の専攻を修了することにより、さらに専門性を深めることができます。大学院では、高度な専門知識の習得だけでなく、教科書にない答えにどうアプローチするか、自分の将来をじっくり考えるよい機会でもあります。現在、就職状況は景気も反映し、大学院、学部ともにほぼ100%です。このような状況だからこそ、学生には、実力を付け、世の中をよく見て自ら考え、自分に合った分野で、大いに活躍して頂きたいと思います。

今後とも、皆様のご理解・ご支援を宜しくお願い 申し上げます。



学生実験の様子

機械システム工学科



2017年4月、新・機械システム工学科の新入生144名が入学してきました。新学科では、学生定員が25名増え、バイオ、ロボット系を専門とする教員が10名加わりました。カバーする研究分野がより多様化され、国内有数の機械系学科に生まれ変わ

りました。新学科では、PBL教育が強化され、新しい専門科目も多数導入されました。教員が増えたことで多様な講義を提供できる体制になっています。

教育プログラム長 教授 妻 木 勇 一

旧学科でも卒業研究に副指導教員制を新たに導入しました。専門分野の異なる教員から指導を受けることで、視野の広い技術者の育成を目指します。より 丁寧な学生サポートを実現するための取組みでもあります。

本学科を選んだこと、機械エンジニアを志したことはとても良い選択だったと学生に話しています。 卒業生が自信と誇りを持って社会で活躍できるよう、引き続き鋭意努力し続けますので、保護者の皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。



友諒会(機械OB会)による学生歓迎会(メルパルク東京にて)

建築・デザイン学科



平成29年4月に工学部として 初めて建築を学ぶ新入生を迎え て一年が経とうとしています。 本学科では、地域の風土を理解 して地域創生に貢献できる人材 を育成するための環境を整えて 参りました。

6月には中山町との包括連携

協定が締結され、町内の歴史的建造物に触れながら 地域の文化や歴史について学ぶことができるように なりました。7月には置賜「地財地住」ネットワー クとの包括的連携協定が締結されて、建築関連業界 による実務講習会や共同研究ができるような環境が 整えられました。

また、建築教育では多くの優れた建築を直に見て、 触れて、感じることが非常に重要です。そのために

教育プログラム長 教授 永 井 康 雄

1年生を対象とした学外研修の機会を設けました。 今年の研修先は京都・滋賀です。数多くの名建築に 触れて豊かな感性を身に着けてもらえたら幸いです。



国宝瑞巌寺修理工事現場見学会

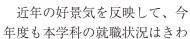
応用生命システム工学科

AIや機械学習ということばを新聞やニュースで 見聞きしない日はない今日この頃ですが、生命・生 活・健康の質の維持・向上を支援するためのヘルス ケア産業では、これらの有望な応用領域として注目 されています。また、いよいよ臨床治験に入った再 生医療や科学的知見に基づく治療薬の開発など、生



教育プログラム長教授湯 浅 哲 也

命現象自体をマニュピレートす る技術の発展も目を瞠るものが あります。本学科では、これら の今後有望な分野に人材を輩出 することを使命として、研究教 育活動に従事しております。





めて良好に推移しております。本学科の特性上、こ れまでは医療機器・電機関連の製造業や情報関連企 業への就職が多かったですが、自動車・工作機械関 連の製造業への就職先が増加しつつあります。また、 中印の爆発的経済発展により受注の増大が見込まれ るビル建設において、ビル設備に関わる工事保守管 理事業への就職が伸びつつあるのが、ここ1.2年 の大きな特徴です。このような従来にはなかった業 種からの引合いは、それぞれの企業が、自動車・産 業ロボットあるいはビルシステムを知能システムと して捉え、AIを積極的に適用する対象と見なして いるという事実に基づいているものと理解されます。 今後も様々な業種でこのような動きが加速されてゆ くものと予想しています。

システム創成工学科

教育プログラム長 教授 木 俣 光 正



29年度システム創成工学科

システム創成工学科は1年次から機械工学の基礎 を学びながら2年次には工学部の各分野に進むこと ができる教育を続けており、発想力の豊かな高い問 題解決能力を備えた学生を輩出しております。教育 は工学の専門教育だけでなく、1年次から特許学習 を行い、パテントコンテストに入賞して実際に特許 を取得した学生はこれまで3名、出願者1名です。 また、企業経営の疑似体験の場として経営シミュ レーションを行い、企業の方の講演も授業に組み入 れております。さらに、今年度からチャレンジコー スを設けており、積極的な学生を対象に大学の講義

とは別に創作活動を行うことができます。今年度は 4名参加しており、3Dプリンタをフル活用してい

ます。また、大 学院進学率は 43%、就職率は 100%です。今 後とも皆様方の 温かいご支援と ご協力を宜しく お願い申し上げ ます。



システム創成芋煮会

平成29年度卒業・修了予定者の就職内定・進学予定先一覧

1. 工学部 (平成29年12月末現在)

コース	学科	就職内定先・進学予定先 (順不同)
	機 能 高 分 子 工 学 科	山形カシオ、ネクステージ、日本ピグメント、日本精機、東邦銀行、東ソー・クォーツ、デザイン・ココ、高校教員、岐阜プラスチックス工業、リード、ニフコ山形、高木化学研究所、静岡中央銀行、洸陽電機、クボタ建機ジャパン、イートランド、アイリスオーヤマ、アイシン機工、NDソフトウェア、JFEテクノリサーチ、山形大学大学院(78名)、筑波大大学院
	物質化学工 学 科	東京エレクトロングループ(2名)、北日本電線、ニクニ白鷹、山形サンケン、三星金属工業、藤倉ゴム工業、豊田バンモップス、ディップソール、太陽誘電、大日本印刷、ソニーリージョナルセールス、千住金属工業、シロウマサイエンス、静岡警察署、ジーエルサイエンス、産業分析センター、小森マシナリー、技研 山形工場、関東化学、リード、チノー、大昌電子、ソルグレイン、COG、安曇野食品工房、秋田市役所、AGCエレクトロニクス、山形大学大学院(37名)、茨城大学大学院(2名)、東北大学大学院、宇都宮大学大学院
	バイオ 化 学 工学科	グラクソ・スミスクライン(2名)、武蔵野フーズ、ふじや食品、タセト、クリーンシステム、清川屋、SJC、米沢浜理薬品工業、ユニオンツール、持田製薬工場、八戸市役所、ニプロ、日新製薬、トヨタ自動車東日本、トーニチ、東ソー・クォーツ、大和製罐、三和缶詰、キスコフーズ、関東化学、米沢牛黄木、岩手県気仙沼郡住田町役場、会津三菱自動車販売、NOK、山形大学大学院(34名)、東北大学大学院(2名)、東京工業大学大学院
昼間・	応用生命 システム 工 学 科	三菱電機ビルテクノサービス(3名)、明電舎、東北エプソン、富士通、国土交通省東北地方整備局、宮城県警、ミック、パナソニックシステムネットワークス開発研究所、アイル、アイネス、横浜市役所、四街道市役所、マーレエンジンコンポーネンツ、北海道電力、福島県庁、ファイナンシャルテクノロジーシステム、日立ハイシステム21、テスコ、デクセリアルズ、チヨダエレクトリック、スズキ、七十七銀行、コスパクリエーション、共栄産業、エコフレンズ、アンリツインフィビス、アルバック東北、アズビル、NECエンベデッドプロダクツ、JR東日本ビルテック、日立情報通信エンジニアリング、山形大学大学院(21名)、東北大学大学院、情報科学芸術大学院
A J I Z	情 報科学科	東杜シーテック(2名)、ビッツ(2名)、ソフトクリエイトホールディングス(2名)、富士通(2名)、アルバイン(2名)、北海道旅客鉄道、日本ラッド、東北エプソン、川西精密、三幸製菓、日立公共システム、日立ハイシステム21、日立ソリューションズ・クリエイト、リブゲート、日立国際電気、ソーバル、ステップ、ケーヒンエレクトロニクステクノロジー、アルファシステムズ、アイティフォー、アイヴィス、YCC情報システム、VSN、NTTデータ東北、NSソリューションズ東京、NS・コンピュータサービス、KSK、三菱電機エンジニアリング、裕幸計装、ハイテクシステム、日本プロセス、日本電設工業、日本データスキル、東北電力、セントラルソフト、セコム工業、ケイバーコム、アンドロボティックス、アンデン、アステック、アイリスオーヤマ、MECプラットフォームズ、NDソフトウェア、山形大学大学院(20名)、筑波大学大学院(2名)、東北大学大学院、宇都宮大学大学院
	電気電子 工 学 科	東日本旅客鉄道(3名)、三愛石油(2名)、ユアテック(2名)、東京エレクトロンデバイス(2名)、仙台市役所(2名)、アルプス電気(2名)、山形県庁(2名)、モビテック、東根新電元、東和エンジニアリング、東光高岳、ゼネラルエンジニアリング、共立ライティング、インテック、JPハイテック、ラピスセミコンダクタ、山形航空電子、宮城県庁、ミネベアミツミ、日本電設工業、ナプテスコオートモーティブ、東北電力、テスコム電機、太平洋セメント、スタンレー電気、常磐共同火力、サトーホールディングス、山形大学大学院(29名)、東北大学大学院
		トヨタ自動車東日本(2名)、東北パイオニアEG(2名)、ソフトクリエイトホールディングス(2名)、三菱マテリアルテクノ、三ツ星ベルト、日立SC、林テレンプ、林精器製造、パーソルR&D、日本電設工業、日本ケミコン、日鉄住金テックスエンジ、新潟県立工業高等学校教員、東レエンジニアリング、東北パイオニア東北電力、大同信号、セイコーエプソン、ジャトコ、カルソニックカンセイ、モビテック、マツモトセイコー、フソウ、富士通ソフトウェアテクノロジーズ、日立パワーソリューションズ、日立ハイテクノロジーズ、ニフコ山形、登米村田製作所、タンガロイ、三五、ケーヒン、キトー、北村製作所、茨進、アドバネクス、TTK、IHIジェットサービス、エプソンアトミックス、イチカワ、アキレス、アイリスオーヤマ、THK、山形大学大学院(60名)、東北大学大学院(4名)
フレックス	システム創成工学科	デンソーテクノ (2名)、荏原商事、山形県警察、山形カシオ、三菱電機インフォメーション、東ソー・クォーツ、ニプロ、東北パイオニア、立山電化工業、館林市役所、大東通信機、住友化学システムサービス、シグマトロン、三機工業、マルス、フジキン、丹羽鉄工所、ニフコ山形、セック、キッツ、カーネルソフトエンジニアリング、YCC情報システム、笠原工業、岩手県庁、イオンリテール、NTTドコモ、デンソーテクノ、山形大学大学院(20名)

2. 大学院理工学研究科博士前期課程(工学系)

専攻	就職内定先・進学予定先	(順不同)
機能高分子·有機デ バイス工学専攻	湖南合成樹脂、シャープ	
有機材料システム専攻	日立化成(4名)、トヨタ自動車東日本(4名)、アイカ工業(3名)、千住金属工業(2名)、住友理工(2名)、住友化学(2名名)、ユポ・コーポレーション(2名)、クレハ(2名)、曙ブレーキ(2名)、アキレス(2名)、NOK(2名)、ユニテックカタ、三菱自動車工業、三菱ケミカル、三菱ガス化学、マックス、藤森工業、日立金属、浜松ホトニクス、日本日本製紙、日産車体、日油、東洋合成工業、東北パイオニア、東京応化工業、東海光学、テルモ、テクノ・モリオアルズ、武田産業、大日精化工業、星光PWC、住化加工紙、ケーシーエンジニアリング、キャノン、技研、ブルボンインク、ニフコ、巴川製紙所、タムラ製作所、シークス、サムスン日本研究所、岐阜セラック製造所、ガリウム、光興産、DPP、AGCエレクトロニクス、山形大学大学院(2名)	フーズ、ムネ テトラパック、 ナカ、デクセリ 、フューチャー
	デクセリアルズ(2名)、ディップソール(2名)、大日精化工業(2名)、大昌電子(2名)、藤倉航装、大和製罐、大日料電化工業、山形航空電子、山形県庁、三井化学、富士電機、日立化成テクノサービス、日本コークス、日本化学コ東京エレクトロングループ、積水フーラー、住友大阪セメント、潤工社、マツバラ、高木化学研究所、新興プランコンテクノロジー、T&K TOKA、岡田商事、NOK、JFEエンジニアリング、山形大学大学院	[業、日東紡績、

バイオ化学 工 学 専 攻	ミツバ、富士通ゼネラル、登米村田製作所、凸版TDKレーベル、サンプラネット、ケイ・アイ研究所、クラレ、大阪合成有機化学研究所、JAライフクリエイト福島、資生ケミカル、プラス・テク、富士紡ホールディングス、福島キャノン、日本システムランド、日本合成化工、日本毛織、日本化成、ニプロ、日東ベスト、日鉄住金テクノロジー、東洋合成工業、東邦化学工業、東芝キャリア、ディップソール、仙波糖化工業、クミアイ化学工業、大内新興化学工業、朝日インテック、アイリスオーヤマ、TPP工業、NOK、JXエンジニアリング、AGCディスプレイグラス米沢、山形大学大学院
応用生命 システム工学 専 攻	あしたのチーム(2名)、富士紡ホールディングス、三菱電機ビルテクノサービス、栗田工業、フジクラ、データシステム米沢、システナ、アース環境サービスDNP情報システム、ユニアデックス、ニプロ、日信ソフトエンジニアリング、ナカニシ、トヨタ自動車、東北パイオニアEG、東北電力、テルモ、アルプス電気、アドテックス、アスモ、アキレス、PSP、KYB、アルバイン
情報科学専攻	福島キヤノン、綜合警備保障、三和工機、日立国際電気、パナソニックシステムネットワークス開発研究所、ニッセイコム、ソフトクリエイトホールディングス、SUBARU、NTTデータアイ、リコーテクノロジーズフューチャーサポート、東日本電信電話、日本精機、中央送電工事、ダイワボウ情報システム、シャープ、カルソニックカンセイ、アルプス電気、アルプス技研、NTTコミュニケーションズ
電気電子工学専攻	東北電力(3名)、東日本旅客鉄道(3名)、三菱電機エンジニアリング(2名)、日本工営(2名)本田技研工業(2名)、日本無線、日本工営、東北インテリジェント通信、ケーヒン、浜松ホトニクス、日本光電工業、東芝メディカル、デンソーテクノ、太陽誘電、セイコーインスツル、信越化学工業、ケーヒン、キヤノンシステム&サポート、キヤノンアネルパ、アルプス電気、NOK、NDソフトウェア、山形大学大学院
機械システム 工 学 専 攻	NOK(3名)、富士電機(2名)、日立ニコトランスミッション(2名)、いすゞ自動車(2名)、Hitz日立造船(2名)、パーソルR&D、マーレエンジンコンポーネンツジャパン、日野自動車、東日本旅客鉄道、パナソニック、日本ガイシ、日特エンジニアリング、日鉄住金テクノロジー、新潟原動機、東北電力、テルモ、大日本印刷、セイコーエプソン、ジャトコ、コベルコ建機、キッコーマン、ヨロズ、不二工機、日立ビルシステム、チノー、スガサワ、荏原製作所、エィ・ダブリュ・エンジニアリング、アルプス技研、アマダホールディングス、アイメタルテクノロジー、アイチコーポレーション、UACJ、SUBARU、GSユアサ、花王、アルプス電気、アルパイン、アミタホールディングス、YKKAP、SMC、NECプラットフォームズ、KYB、有職者(1名)、山形大学大学院
ものづくり技 術経営学専攻	荘内銀行、女神インキ工業、ケーヒン

3. 大学院理工学研究科博士後期課程(工学系)

専攻	就職内定先・進学予定先	(順不同)
有機材料工学専攻	信越化学工業、九州大学、 有職者(3人)	
バイオ工学専攻	川研ファインケミカル	
ものづくり技術経営学専攻	朝日ラバー、米沢信用金庫	

平成28年度 卒業・修了者の就職状況

(平成29年4月末現在・3月卒・修了者のみ)

	学	科・専攻別	工学部 昼間・Aコース						「学部 大学院理工学研究科 博士前期課程 クスコース														
事	項		機能高分子工学科	物質化学工学科	バイオ化学工学科	応用生命システム工学科	情報科学科	電気電子工学科	機械システム工学科	計	システム創成工学科	計	機能高分子工学専攻	有機デバイス工学専攻	物質化学工学専攻	バイオ化学工学専攻	応用生命システム工学専攻	情報科学専攻	電気電子工学専攻	機械システム工学専攻	ものづくり技術経営学専攻	計	合計
	卒	業・修了	(19)	(15)	(26)	(16)	(8)	(4)	(8)	(96)	(9)	(9)	(3)	(2)	(8)	(15)	(5)	(1)	(0)	(1)	(3)	(38)	(143)
	予	定者数	103	74	61	60	77	78	120	573	45	45	40	26	45	23	21	21	30	51	9	266	884
		就職希	(5)	(4)	(14)	(9)	(7)	(2)	(3)	(44)	(6)	(6)	(3)	(2)	(8)	(13)	(5)	(0)	(0)	(1)	(3)	(35)	(85)
		望者数	22	22	22	31	47	40	48	232	23	23	38	25	45	21	21	20	29	50	6	255	510
概	[内	自営希	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
170		望者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		進学	(14)	(9)	(10)	(7)	(1)	(2)	(4)	(47)	(3)	(3)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(2)	(52)
	訳	希望者数	79	48	36	26	29	37	67	322	19	19	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	344
		その他	(0)	(2)	(2)	(0)	(0)	(0)	(1)	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(6)
			2	4	3	3	1	1	5	19	3	3	2	0	0	1	0	0	1	1	3	8	30
況	就	職内定者数	(5)	(4)	(14)	(9)	(7)	(2)	(3)	(44)	(6)	(6)	(3)	(2)	(8)	(13)	(5)	(0)	(0)	(1)	(3)	(35)	(85)
	L		22	22	22	31	46	40	48	231	23	23	38	25	45	21	21	20	29	50	5	254	508
	未	内定者数	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
			0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	-	定率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	97.9	100.0	100.0	99.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	83.3	99.6	99.6
	就	敞決定率(%)	91.7	84.6	88.0	91.2	95.8	97.6	90.6	92.0	88.5	88.5	95.0	100.0	100.0	95.5	100.0	100.0	96.7	98.0	55.6	96.6	94.1

[注] () 内の数字は女子を示し内数である。就職内定率:就職内定者数÷(就職希望者数+自営希望者数) 就職決定率:就職内定者数÷(卒業・修了予定者数-進学希望者数)である。

キャリアサポートセンターだより



キャリアサポートセンター長 **黒 田 充 紀** (大学院理工学研究科 機械システム工学分野 教授)

工学部ではキャリアサポートセンターを中心に学生のキャリア形成への支援活動を展開しております。各学科の就職担当教員からなる就職担当者連絡会を定期的に開催し、学部全体での情報共有を図っています。平成29年度工学部卒業者の大学院進学率は51%と前年度と比べてほ

ば横ばいです。就職についても希望者は昨年12月の時点でほぼ100%の内定率に達しました。大学院修了予定者の就職内定についてはさらに順調でした。

今年度も米沢市営体育館にて、3月1日から3日間にわたり400社を超える企業様の参加を得て工学部合同企業説明会を開催いたします。就職希望の学生・大学院生は、前年の夏頃から開始される企業インターンシップ、就職活動セミナーや社会人マナー講座受講などの準備期間を経て、いよいよ合同企業説明会を皮切りに本格的な就職活動に入ります。例年、非常に多くの学生・大学院生が合同企業説明会参加企業様から内定を頂いております。是非、合同企業説明会を最大限に活用して頂きたいと思います。

これからのキャリア設計には、「どの企業に入るか」よりも、「何をして生きるか」「どう生きるか」という 視点が重要です。産業構造の変化に伴って、企業の構成も職種の形態も変わっていきます。ものづくりの拠点 は、大都市圏ではなくいわゆる地方あるいは郊外地域に立地することが多く、また、海外との接点(共同開発、 取引、出張、赴任等)もますます増加しています。 学生の皆さんには、自分の専門的強みを活かしてどのよ うに社会に貢献するのか、そして何処でどのような生き方をするのかを真剣に考えて頂きたいです。

以上のような状況と考えのもと、教職員一丸となって全力でサポートして参ります。

就職活動と後輩へのアドバイスが大き



物質化学工学科 4年 吉 田 英 世

ゴリゴリの主観性100%で話そうかなって思っているので、そのアドバイスは全員にはあてはまらないと思います。当たり前と思うかもしれませんが、就活ではいろんな情報が飛び交います。その中でどの情報を得るかは自分自身の判断です。しっかりと取捨選択をし、自分に必要な情報を上手に得てください。僕の話も1つ参考としてみていただければ幸いです。

就活では、精神的につらくなるというお話をいろんなところから聞くと

思います。それは嘘ではないと思います。自分の志望したところから内定をもらえなかったら、他の友達はもう内定をもらっているのに自分はまだ、過去の自分を遡っていたらESにかけるようなことは何もなかった、などいろんなつらいことがあるかとは思います。しかしその一方で、なんか知らんけど百戦百勝、エントリーしたところはだいたい受かるみたいな人もいます。いるんですよそんな奴が。きっと本人も知らないまま内定への正解ルートを闊歩しているんですよ。でもそうではない僕みたいな人間は一歩一歩、緊張や不安の中を地道に歩いて行かなくてはいけないです。だからつらいことがあっても冷静に何がダメだったのか分析して修正してください。今までの山形大学工学部出身の先輩方もきっと同じでした。それでも就職率は約100%という数値の高さです。僕も無事決まりました。きっとあなたも大丈夫。焦らず就活を進めていきましょう。

どうしてもここで働きたいところがあってそこじゃなきゃダメなんだという方もいると思います。その時は、がんばるしかありません。情報を集めましょう。いろんな人からお話を聞いたり、実際にそこの採用担当にかたに面接練習や、ESの添削をお願いするのもいいかもしれませんね。がんばってお祈りされたらあきらめましょう、他にもよいところはきっと見つかりますよ。あきらめも肝心です、センター模試で200点の人が半年間それなりにがんばって東京大学に合格するようなものだと思います。今までの学生生活で準備を怠った自分を悔いましょう。

最後になりますが、就活はたくさんの人が乗り越えてきたものです。それと同時に今後のあなたの人生を左右するものでもあります。なりふり構わず使えるものは使う、頼れる人には頼るといいと思います。あなたが思うより多くの人があなたに手を差し伸べて助けてくれると思います。体調に気を付けてがんばってください。

山形大学工学部後援会会則

(名称及び事務所)

第1条 本会は、山形大学工学部後援会と称する。

第2条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する

- (1) 工学部学生の保護者並びに大学院理工学研究科(工学系)及び、大学院有機材 料システム研究科学生の保護者
- (2) 工学部に勤務する教職員
- (3) 本会の趣旨に賛同する者

第3条 本会の事務所は、山形大学工学部内に置く。

(目的及び事業)

第4条 本会は、工学部の教育及び運営に協力し、併せて学生、教職員の福利厚生 の向上を図るとともに、学生の課外活動を育成援助することを目的とする。 第5条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 学生の教育、課外活動及び就職斡旋に必要な助成
- (2) 学生及び教職員の福利厚生に必要な助成
- (3) その他、本会の目的達成に必要なこと。

(役員及び任務)

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長
- (3) 理事
- (4) 監査
- (5) 幹事

第7条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、会員の推挙による
- (2) その他の役員は、会長が会員の中から委嘱する。

第8条 役員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

第9条 役員の任務は次のとおりとする

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。 (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合その職務を代行する。
- (3) 理事は、本会の重要案件を審議する。

(4) 監査は、本会の会計を監査する。 (5) 幹事は、本会の会務を処理する。 第10条 本会に、顧問をおくことができる。

(会議)

- 第11条 本会に、審議決定機関として、理事会を置く。 2 理事会は、会長、副会長、理事及び監査を持って構成する。
- 3 理事会は、原則として年1回開くものとする。ただし、会長が必要と認めたと きは、臨時に開くことができる。

4 会長は、理事会を招集し、その議長となる。 第12条 理事会は、次に掲げる事由を審議決定する。

- (1) 会務の報告
- (2) 事業計画に関すること
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 会則の改正に関すること。
- (5) 会長の推挙に関すること
- (6) その他理事会において必要と認めた事項

(会計)

第13条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入をもってあてるものとし、保護 者の会費は、入学時または編入学時に全納するものとする。

- 2 納付した会費は、返還しないものとする。
- 3 会費の額は、別に定める。

第14条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(準則)

第15条 本会に、次の帳簿を備える。

- (1) 会員名簿
- (2) 役員名簿
- (3) 会議録 (4) 会計簿

第16条 本会の運営に必要な事項は、別に定めることができる。

附則 この会則は、平成8年4月1日から施行する。 1

山形大学米沢教育振興会規則(昭和23年4月1日制定)及び山形大学米沢体育後 援会規則(昭和25年4月1日制定)は廃止する。

附 則

この会則は、平成12年5月29日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

則

この会則は、平成16年6月29日から施行する。

附 則

- この会則は、平成16年12月15日から施行する。
- 改正後の会費については、平成17年度入学生から適用する。

刞

この会則は、平成17年12月6日から施行する。

附 則

この会則は、平成21年6月19日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

この会則は、平成28年6月17日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

工学部後援会会費

山形大学工学部後接会会則第13条第3項の規定に基づき、会員が納入する会費は、 次のとおりと定める。

(1) 学部学生の保護者

26.000円 13.000円

(2) 3年次編入学学部学生の保護者 (3) 大学院 (博士前期課程) 学生の保護者 13,000円

(4) 大学院(博士後期課程)学生の保護者 19,500円 (5) 本会の趣旨に賛同する者

平成28年度 一般会計収支決算書 及び 平成29年度 一般会計収支予算書

収入の部

(単位:円)

						(+122 - 13)
199		目		平成29年度		
坦	項目		予算額	収入済額	増減	予算額
会		費	21,261,500	19,643,000	△ 1,618,500	22,132,500
雑	収	入	2,000	123	△ 1,877	2,000
繰	越	金	1,069,996	1,069,996	0	331,247
合		計	22,333,496	20,713,119	△ 1,620,377	22,465,747

支出の部

_	55			平成28年度		平成29年度
اد	項	=	予算額	支出済額	残 額	予算額
1	学科厚生補導	拿費	1,234,800	1,241,100	△ 6,300	1,244,900
_	学部学生指導 助	享補 費	571,200	571,200	0	540,000
	学 科 行 事 補 助	等費	663,600	669,900	△ 6,300	704,900
2	一般厚生補導		3,292,000	3,458,449	△ 166,449	3,564,500
	国際交流関補 助	費	500,000	507,757	△ 7,757	500,000
	TOEIC - テスト補助	I P J 費	1,000,000	996,800	3,200	1,000,000
	学務関係補助		550,000	819,515	△ 269,515	800,000
	保健管理関補 助	係費	30,000	17,509	12,491	30,000
	理 容 部 運	営費	300,000	204,328	95,672	300,000
	基 盤 教 育 事 後 援	業費	912,000	912,540	△ 540	934,500
3	進路対策補助	力費	100,000	46,206	53,794	100,000
4	学生研究助成	支費	1,000,000	915,000	85,000	1,000,000
5	課外活動補助		500,000	564,976	△ 64,976	500,000
6	一般体育設備 補 助	事等 費	200,000	290,530	△ 90,530	300,000
7	厚生施設等現整 備補助	環境 費	200,000	761,641	△ 561,641	500,000
8	研修行事等队 補 助	費	150,000	140,000	10,000	150,000
9	学部涉外関 補 助	係費	400,000	430,498	△ 30,498	400,000
10	大学行事補助	力費	1,500,000	1,946,044	△ 446,044	1,500,000
11_	運 営	費	3,940,000	3,012,066	927,934	3,490,000
	会 報	費	900,000	800,123	99,877	900,000
	会 議	費	350,000	271,478	78,522	300,000
	通信	費	30,000	24,331	5,669	30,000
	事 務	費	1,200,000	846,281	353,719	1,000,000
	旅	費	150,000	0	150,000	150,000
	地区別説明会	:費	1,200,000	969,529	230,471	1,000,000
	学園都市推協 議 会	進費	100,000	100,324	△ 324	100,000
	雑	費	10,000	0	10,000	10,000
12	積 立	金	1,500,000	0	1,500,000	1,000,000
13	施設協力	金	8,130,000	7,555,000	575,000	8,512,500
14	予 備	費	186,696	20,362	166,334	203,847
合		計	22,333,496	20,381,872	1,951,624	22,465,747

山形大学工学部保護者懇談会 今年度(平成29年度)実施報告と来年度(平成30年度)開催予定

保護者懇談会は、全国を3ブロックに分けて開催するようになってから、今年度で7年目となりました。進学・就職に関する講演や教員と個別に相談する時間も設けています。保護者同士の交流の場としても大変好評をいただいておりますので、ぜひこの機会にご参加くださいますようお願いいたします。

■今年度 実施報告

地 域	開催日	開催会場	参加者数
関東·甲信越地区	9/10(=)	メルパルク東京(港区)	85名
北海道·東北地区	10/7曲	工学部米沢キャンパス	183名
中部·西部地区	11/19(=)	KKRホテル名古屋(名古屋市)	32名

■来年度 開催予定

地域	開催予定日	開催予定会場
関東·甲信越地区	9/9(=)	メルパルク東京(港区)
北海道·東北地区	10/6供	工学部米沢キャンパス
中部·西部地区	11/11(🗆)	KKRホテル名古屋(名古屋市)







お 知 ら せ=

◎学位記授与式・祝賀会のご案内

学位記授与式

日 時: 平成30年3月21日〜 11時から 式典会場: 米沢市営体育館 米沢市金池3-1-62

祝 賀 会

日 時: 平成30年3月21日劔 12時30分から 祝賀会会場: グランドホクヨウ 米沢市金池2-3-7

◎入学式のご案内

日 時:平成30年4月3日(火 10時30分から

式典会場:山形県体育館

山形市霞城町1-2 霞城公園内

◎各種相談の窓口

学務課学生支援担当(☎0238-26-3017)

→授業料免除、奨学金、就職、インターンシップ、 休・退学、留学、学生寮、サークル活動、 健康相談、こころの悩み

学務課教育支援担当(☎0238-26-3015)

→教務(授業・履修・成績)、教員免許、 諸証明書の発行、転学部・転学科、 科目等履修生、TA

学務課入試担当(☎0238-26-3013)

→各種(学部·大学院)入学試験、編入学試験

平成30年度工学部年間予定表

前 期(平成30年4月1日~9月30日) 後 期(平成30年10月1日~平成31年3月31日)

春季休業: 4/10~4/2月 授業期間: 10/1月~12/21 補講期間: 2/13%~2/19份 入学式: 4/3份 春季休業: 2/20份~3/31日

授業期間:4/9月)~7/19休 開学記念日:10/15月 学位記授与式:3/21休 学位記授与式:3/21休

 定期試験: 7/20<</td>
 7/30
 冬季休業: 12/25
 1/10

 補講期間: 7/31
 2株
 授業期間: 1/11
 1/31

 夏季休業: 8/4
 4
 2/30
 定期試験: 2/1
 2/12

平成27年4月10日、工学部後援会ホームページを開設しました。保護者のみなさまが「必要としている情報」をお伝えすることを第一の目的として運営して参ります。ご意見・要望などございましたら、ぜひ後援会事務局へお寄せ下さい。

平成28年度より、保護者懇談会の開催案内は工学部後援会ホームページへ掲載し、参加お申し込みもホームページ内で受け付けております。 みなさまのご参加を教職員一同お待ちしております。

山形大学工学部後援会事務局

〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16 TEL: (0238)26-3017 FAX: (0238)26-3406 山形大学工学部後援会ホームページ http://yamagata-u-eng-support.jp/ 山形大学工学部後援会 | 検索